愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

大学

ビジネス学部 ビジネス学科 現代ビジネス専攻

企業分析プロジェクトB（東海地区のグローバルカンパニー）

森 洵太 准教授

会計情報を多角的に分析し、ビジネスの現場で求められる力を養う。

経営学、商学、会計学、経済学を総合的に学びながら、ビジネスの現場で必要となる実践力を養う現代ビジネス専攻。企業や自治体などと連携したアクティブラーニングを積極的に実施しています。その専門科目「企業分析プロジェクト」では、企業の財務諸表を読み解き、経営実態や課題などを明らかにしています。森先生が担当する「企業分析プロジェクトB」は、東海地区を代表するグローバル企業がテーマ。企業の企画管理に携わる方を講師としてお招きし、経営成績の推移、構造改革などについて語っていただきます。学生はビジネスの実情に迫りながら、企業が公表する会計情報を分析。グループでの議論・考察を経て、報告会でさらに学びを深めます。こうした実社会と向き合う学修を通して、あらゆる業界で求められる論理的思考力や分析力、多角的な視野を鍛えています。

等校 高学

愛知淑徳高等学校

保健体育

八神 慎介 教諭

スポーツの楽しさを仲間と共有しながら健やかな心身を鍛えていく。

明治38年の学園創立当初から、愛知淑徳では時代を先取る教育を推進してきました。その一つが体育です。運動を奨励して活気に満ちた校風を育み、生徒は新しい時代を生き抜くための力、「淑徳魂」を培っていきました。そうした伝統が、現在の保健体育にも受け継がれています。高校の授業を担当する八神先生は「生徒が主体的に活動できる授業づくりを大切にしています。健やかな心身の基礎となる体力、健康管理や危険回避の知識を身につけるとともに、スポーツに親しみ、仲間とコミュニケーションを深める場としても、授業に積極的に取り組んでほしいと生徒に期待しています」と語ります。コロナ禍においては、八神先生をはじめ保健体育教員や生徒が協力し合い「淑徳体操」を考案。新たな伝統を生徒と一緒につくりながら、スポーツを通した心身の成長を支えています。